

事務事業名		ふるさと・おおふなとお話大賞開催事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業	
政策体系	政策名	0 3 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		
	施策名	1 4 生涯学習の推進				
	基本事業名	0 2 学習機会の充実		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成2 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		
根拠法令				予算科目		
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課		事務事業区分	A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)	
	課長名	熊谷 善男				
	係名	中央公民館	電話 26-3166			
	担当者	新沼 宏平	内線 432			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)		
・青少年及び一般市民等がふるさとを舞台にした童話やお話を創作することにより、市民等の郷土愛を醸成し豊かな心を育む事業。 ・具体的な業務は、ア.チラシ等で作品募集、イ.作品審査 ウ.表彰式 エ.作品集の刊行 ・事業費の主な使途は、報償費(審査員、入賞賞品、講師等)となっている。				総投入量(千円)	国庫支出金	
					都道府県支出金	
					地方債	
					その他	
					一般財源	
					事業費計(A)	0
				正規職員従事人数		
				延べ業務時間		
				人件費計(B)	0	
				トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標																									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 作品の募集、審査委員会の開催(入賞作品の選定)、表彰式の開催 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同じ ② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 大船渡市民等 ③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) おはなしづくりを通じて、応募者の郷土愛と豊かな心が育まれる。 ④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・学習意欲の啓発・向上がなされている。 ・主体的な学習活動が行われている。 ・学習成果が発揮されている。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 応募件数(ふるさと・おおふなとお話大賞)</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カ 人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ 応募件数(ふるさと・おおふなとお話大賞)</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 応募件数(ふるさと・おおふなとお話大賞)	件	イ		ウ		名称	単位	カ 人口	人	キ		ク		名称	単位	サ 応募件数(ふるさと・おおふなとお話大賞)	件	シ		ス	
	名称	単位																							
	ア 応募件数(ふるさと・おおふなとお話大賞)	件																							
	イ																								
ウ																									
名称	単位																								
カ 人口	人																								
キ																									
ク																									
名称	単位																								
サ 応募件数(ふるさと・おおふなとお話大賞)	件																								
シ																									
ス																									

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(実績)	元年度(目標)	2年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	57					
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	15	111	66	110	64	64
	事業費計(A)		千円	72	111	66	110	64	64
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	60	60	60	60	60	60
		人件費計(B)	千円	240	240	240	240	240	240
		トータルコスト(A)+(B)		千円	312	351	306	350	304
⑤活動指標		件	26	38	26	15	30	30	
⑥対象指標		人	38167	37633	36933	36234	36335	36437	
⑦成果指標		件	26	38	26	15	30	30	

事務事業ID	1068	事務事業名	ふるさと・おおふなとお話大賞開催事業
--------	------	-------	--------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
三陸町内の読書推進事業の一環として、「さんりくおはなし大賞」の名称で平成2年に開始。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
三陸町内の読書推進事業として行われてきたが、大船渡市との合併で市立図書館にも類似事業があるため、平成28年度に事業目的等の見直しを実施。郷土愛醸成と青少年健全育成に事業目的を切り替え、名称を「ふるさと・おおふなとお話大賞」に変更した。なお東日本大震災により、三陸公民館が甚大な被害を受けたため、平成23年度から事業を中央公民館で実施することになった。
*事業内容変更に伴い26年度以降成果指標を算出できない状況にあり、今後も同じ状況が続く見込みのため28年度評価より指標を整理・変更した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
学校関係者や審査員等から「本を読んだ成果等を文章にまとめたりすることは大切なことなので継続してほしい」という要望がある一方、審査委員会では応募数の減少に歯止めがかからないことから「縮小・休止・廃止も已む無し」との意見もあった。
学校側にとっては、類似のコンテストが市立図書館と中央公民館の2箇所で開催・募集されるため取り組みが大変であるという声も聞かれる。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ふるさとが舞台のオリジナル作品を創作することで、市民等の郷土愛を醸成し、豊かな心を育むひとつづくりが図られている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 市民等の心を育む本事業は、極めて公共性が高いため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 広く市民等を対象として豊かな心を育むことをねらいとするため適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 引き続き過去の応募作品の市公式ホームページへの掲載を進め、市民等の閲覧に供すると共に、エフエムねまらいんなどを活用し、周知・応募者増加に努める。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 市民等の郷土愛醸成と豊かな心を育むひとつづくりに支障を生ずる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 おはなしづくり講習会については、受講者及び受講者がお話大賞に応募する実績数が少ないことから、29年度以降の実施を取りやめるなど、既に削減に努めている
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 おはなしづくり講習会の廃止による業務時間削減分は過去の応募作品を市公式HPで公開する準備に充てるため。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 広く市民等を対象とした事業であるため、公平・公正性は担保されている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	複数の広報媒体を活用し周知に努めていくが、応募作品数の減少に歯止めがかかっていない。減少が続けば事業の維持が困難になるため、休止・廃止を含めて検討する必要がある。	(2) 改革・改善による期待成果																					
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	●		×																			
	低下		×	×																			
募集対象者の拡大等を行ったものの、応募作品数は平成21年以降は徐々に減少している。引き続き周知を図っていくが、応募作品数の減少に歯止めがかからない場合は事業の休止・廃止を検討する必要がある。 なお、審査委員からは「廃止となるのならば、最終回は大々的に実施するのが良いのではないか」との意見が出ている。																							

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	応募者もかなり減少しており、事業の存続を検討する必要がある。また作品の活用など、事業の成果をより広く社会に還元する必要がある。